

2018～2019 年度

第 4 回長期計画委員会

議長：地区名誉顧問 L. 喜禎 光弘
司会：キャビネット幹事 L. 若松 忠洋

〈日時〉 2019年4月21日(日) 10:00～11:00
〈場所〉 ホテル京セラ 別館2階 「フラワー」

1 開会前言

2 出席者紹介

3 議長挨拶 (L. 喜禎より御挨拶をいただいた)

(趣旨)

議長が体調不良ということで久しぶりではあるが議長を務めさせていただく。
慣れないところはあるが議事に沿って進めていくので皆さんよろしくお願いします。

4 地区ガバナー挨拶 (L. 曾山 純廣)

(趣旨)

吉村議長が体調不良で欠席だがどうしたらよいかと増田名誉顧問に御相談したところやはり回の宣言は議長がしなければならないとのことで前議長の L. 喜禎に依頼をして快く引き受けてくださった。

年次大会ではガバナーエレクトに L. 玉城が選任されたので沖縄から鹿児島へいい風を吹かせていただきたい。今回は最後の会議ということで、皆さんに御出席いただいているのでよろしくお願いします。そして奄美大島 LC・奄美名瀬 LC について少し話をさせていただきたい。クラブ承認の問題・LCIF 金銭問題・バスケット問題・災害支援金報告の問題、最終的に大きな問題になった。山田元国際会長の裁定を双方のクラブに言い渡した。これは本年度のキャビネットも国際本部の重い裁定であることを皆様と共有し、御認識いただき、次年度に申し送りたいと思っている。この件についてはもうノーサイドだと会員の皆様にお伝えいただきたい。このことで 337-D 地区が混乱してはならない。次年度沖縄のいい風受けて帆を立てて D 地区が邁進していけるよう祈念申し上げる。

5 議事

(1) 次期キャビネットへの申し送り事項

次年度地区スローガン「ニーズに応える奉仕活動」についてガバナーエレクト L. 玉城より説明をいただいた。

(L. 玉城)

これまでの事業に加えて、さらに我々の奉仕や援助を待っている方々への新たな奉仕活動というものを探していきたい。ライオンズの奉仕活動が全体に広がっていき、繰り返せばライオンズの認知度も高まっていくのではないかとも思っている。

※ 次年度スローガン「ニーズに応える奉仕活動」は過半数の承認により上程された。

(2) L. 若松より各RC・ZC・委員会から引き継ぎ事項をお話いただいております。どうか提案がなされた。

(鹿児島R・RC・L. 寿浦)

次期キャビネットにお願い。鹿児島LCが60周年LCIF交付金を活用したACTを考えているのでその中に入れていただきたい。地区2件までなので、早めに言っておいた方がよい。

LCIFについては0というクラブも結構いる。離島や地方がなかなか…0のクラブをなくすなら5ドルでも10ドルでもいいからやってくれないかという方がいいのではないかと。100ドルというとなかなかだと思うが、いかがですか？委員長。それが今回1番の課題だろうと思う。

(地区LCIF委員長L. 窪田)

交付金を使ってどんどんやりたい、LCIFを利用したいというところが増えていまして、それと災害もたくさん増えております。資金力がないと我々の交付金交付に支障が出る。337-Dの現状を考えると悲しい現実が待っている。44%が3月末で0。LCIFの20ドル献金すらも出来ないクラブもある。ゾーン内も0というところもある。皆さん帰っていただいて自分のゾーンがどういう状況か確認してもらいたい。100ドルキャンペーンは鹿児島地区において、城山・谷山・国分隼人のたった3クラブ。自分のがんばりやお願いが足りないのか、このお金を集めないと交付に支障をきたす。LCIFに対する皆さんの御協力・御理解を切に願う。

(鹿児島R・RC・L. 寿浦)

20ドルから100ドルになったと、20ドルすらままならないクラブが100ドルは高すぎる。5ドルとか10ドルとか全員がするという姿勢が大事だと思う。0は伝染する。ZCも自分のゾーンが0だとなかなか動きにくいのではないかと。財政多難な折500円1,000円なんとかお願い出来ないか…ということはどうも出来ないものか。

(地区LCIF委員長L. 窪田)

本部の決定事項が降りてきた。確かに本地区にとって非常に厳しいと思っている。しかし本部で決まったことは従うよう努力しなければならない。

(地区ガバナー L. 曾山)

日本のあるべき姿、世界にしめす姿勢として宣伝的なこともある。100ドルあったら何が出来るのか…人道支援・白内障の手術・災害のときの緊急物資・100人の子どもたちのはしか予防接種などが出来る。本年度は役員にもお願いしてきて、本クラブからはキャビネット幹事・会計・キャビネット委員もひとり行った。奉仕の心が本人に表れたときにこのような行動になる。最初に寄付金をしたときの感動も大切にしてほしい。

(複合地区LCIFコーディネーターL. 増田)

サイトファーストという言葉があるが視力を失った方々に寄付をするという取組みに積極的に日本は取り組んだ。もし100ドル寄付をすれば6分に一度死んでいくはしかの子を救うことができる。地区としてはA地区の成績がいい。モデルクラブは福岡20クラブ。

(地区LCIF委員長L. 大石)

沖縄も現状は厳しいが残りの日数で努力していきたい。

(3) LCIF 交付金について

(地区レオ・クエスト委員長L. 新山)

例年25,000ドルの交付金を申請してクエスト事業のワークショップに取り組んでいる。次年度は宮古島が独自に予算を組んでいることからより多くのワークショップが行える。そのため次年度の交付金申請を

34,000 ドルまで上げさせてほしい。

※ 過半数の承認によりキャビネット会議に上程された。

(4) 委員会より引継ぎ事項

(地区 GMT 委員長 L. 新里)

沖縄の方も会員増強が厳しい現状であるが、一人でも増えるよう時期にも引き継いでいきたい。

(地区 GMT 委員長 L. 黒木)

6月末の退会の防止と家族会員の増加を目標に残り頑張っていきたい。

(地区 GST 委員長 L.尾辻)

鹿児島・沖縄で今期セミナーを行ったのでこのことを時期にしっかり引き継いでいきたい。

(地区 GLT 委員長 L.玉栄)

4/24 にメンバーズスクールと人材育成セミナーを行うので成功できるよう頑張りたい。

(地区 FWT 委員長 L.三反田)

11月に鹿児島で4月には沖縄でセミナーを行った。次年度には支部クラブのメリットを伝えていきたい。

(地区 YCE 委員長 L.前田)

7月のキャンプは本地区で行うことになっているので協力を願いたい。

(地区 YCE 委員長 L. 砂川)

沖縄は派遣が1名・受入れが1名、引き継いでいきたい。

(情報テクノロジーL. 青木)

サバンナが MyLion に…ということだったが全く動かなかった。情報すら降りてこない状況。会議の復活をお願いしているところ。

(沖縄 1Z・ZC・L. 与古田)

5月には新規のクラブ立ち上げが喜ばしい。しかし解散寸前のクラブがあるので対応したい。

(沖縄 1Z・ZC・L. 又吉)

7クラブ中2クラブがあまり力のないクラブ。そこに一緒に頑張ろうと力を貸してきた。次期にも継続してやっていくことを引き継ぎたい。そして高校生に献血についても力を入れてきたので次期にも申し送ってきたい。

(沖縄 1Z・ZC・L. 金城)

会員増強に毎年貢献してくれていたクラブから5名の退会が出たので立て直す気持ちで頑張りたい。

(GAT ファシリテーターL. 知識)


ガバナーの躍動セミナーに協力してきた。参加した会員からは「勉強になった」「また参加したい」という声がたくさん聞こえてきた。次年度も開催する予定だと聞いている。若い会員たちに意欲にもつながった。

※ 鹿児島RのZCについてはキャビネット会議で引継ぎをすることになった。

議事録作成人 キャビネット幹事

若松 忠洋

議事録署名人 キャビネット会計

松元 武 

地区クエスト・レオ委員長

新山 広明 